

シンポジウム

防災・震災復興と 「男女共同参画」

—震災から得た教訓は何か—

主催 宇都宮大学男女共同参画推進室

登壇者

芳村佳子

公益財団法人
とちぎ男女共同参画
財団

真木 柊鷹

性と人権ネットワーク
ESTO代表

手塚真子

那須塩原・放射能から
子どもを守る会代表

大山 香

栃木避難者母の会
代表

2014年

11/16 (日)

参加費
事前申込
不要

フェス7
国立大学2014

プログラム

- 13:00 開会の挨拶
- 13:10～ プログラム① 登壇者による講演
「今後の防災と復興の在り方をめぐって
—多様な当事者の立場から—」
- 14:30～ 休憩
- 14:40～ プログラム② ラウンドテーブル
「多様な声を反映した防災と復興を考える」
- 15:50～ 閉会の挨拶
- 16:00 終了

時間：13時～16時（12時半開場）

会場：宇都宮大学峰キャンパス大学会館2階 多目的ホール
（栃木県宇都宮市峰町350 地図は裏面をご覧ください）

共催：一般社団法人国立大学協会／栃木県人権・青少年男女参画課
宇都宮大学女性研究者キャリア支援室
国際学部附属多文化公共圏センター 福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト（FSP）
後援：公益財団法人とちぎ男女共同参画財団／社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
NPO法人とちぎボランティアネットワーク／とちぎ協働デザインリーグ

お問い合わせ先：宇都宮大学男女共同参画推進室 女性研究者キャリア支援室 （E-mail: gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp）

電話：028-649-5151 【受付時間 10:00～16:00】

参加費・事前申し込みは不要。来場者は大学駐車場をご利用いただけます。

託児サービス：当日は無料の託児サービスを用意しています（事前申し込みが必要です）。詳細は裏面をご覧ください。



企画の趣旨

3. 11東日本大震災発生から4年目を迎えるなか、被災者に向けた支援活動や政策について、男女共同参画やジェンダーの観点を取り入れる必要性が指摘されています。栃木県は、東日本大震災の被災地であると同時に、隣県の福島県を含めて被災地からの避難者を受け入れてきました。その多くが現在も厳しい避難生活を送るなか、自治体、市民団体、宇都宮大学をはじめとする研究・教育機関が、被災者への支援活動や調査を進めてきました。

これらの活動や調査のなかで浮かび上がってきたのは、被災者のなかでも、女性や性的少数者の声が支援者や行政に届きにくい問題や、性差に基づく社会的な役割分担が復興を進めるうえでの障害となっていることなど、男女共同参画やジェンダーに関わる問題でした。このシンポジウムでは、2013年に栃木県によって作成された『男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック』を取り上げつつ、多様な支援ニーズを見据えた防災と復興計画の必要性を考えます。

登壇者のご紹介

芳村佳子（公益財団法人とちぎ男女共同参画財団）

1999年よりパルティとちぎ男女共同参画センター事業の企画運営に従事。
2013年発行『男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック』の作成と普及啓発に取り組む。

真木 柊（性と人権ネットワークE S T O代表）

秋田県で1998年に性的マイノリティの支援と人権啓発のための活動を始める。
戸籍上は女性のまま男性として生活している。秋田県男女共同参画推進員。

手塚 真子（那須塩原・放射能から子どもを守る会代表）

栃木県那須塩原市在住。栃木県北部の放射能汚染問題への対応を進めるため、
「那須塩原・放射能から子どもを守る会」を2011年6月に立ち上げ、現在に至るまで代表として活動中。

大山 香（栃木避難者母の会代表）

福島県富岡町出身、栃木県宇都宮市在住。
福島市からの自主避難者として、「とちぎ暮らし応援会」の訪問支援員を務めた後、
2013年4月より「栃木避難者母の会」代表として活動中。

コメンテーターのご紹介

長谷川万由美（教育学部教授・男女共同参画推進室員）

専門は社会福祉学。宇都宮大学学生ボランティア支援室担当教員として、学生とともに被災地の支援活動を続けている。
また、震災時の福祉施設や当事者の対応について調査を行っている。

良 香織（教育学部准教授・男女共同参画推進室員）

学校教育で多様な生と性の学びが位置づいているか/いないかを明らかにすることを研究テーマとしている。
震災時の保育所等の対応について調査するプロジェクトにも参加した。

清水奈名子（国際学部准教授・男女共同参画推進室員）

専門は国際関係論・国際機構論。福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクトメンバーとして、
避難者問題や栃木県北の被災問題の調査・研究を行う。

託児申込・アクセス

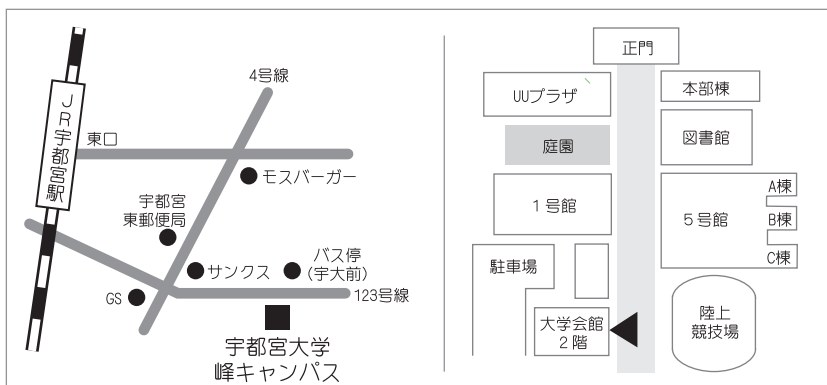
事前お申し込みで、無料託児サービスをご用意しています。
ご利用の方は、下記の申込先までご連絡をお願いいたします。（受入人数に限りがあります。お早めにお申し込みください。）

託児申込み締切り 2014年11月7日（金）午前中まで

申込先：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト 担当：匂坂（さざさか）

電話：028-649-5228（月～金 9:00～16:00）

E-mail：sagih-fsp@hotmail.co.jp（随時）



・アクセス
JR宇都宮駅よりバスで10分程度
「宇大前」下車
西口バス乗り場3番
西口バス乗り場14番
詳細は <http://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/>